

平成 2 6 年 度  
決 算 報 告 書

( 第 5 0 期      平成 2 6 年 4 月 1 日 )  
                  平成 2 7 年 3 月 3 1 日

# 貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	4,953,712,902	4,772,340,061	181,372,841
貸付金	17,266,645,000	18,294,509,125	△ 1,027,864,125
立替金	4,700,000	3,100,000	1,600,000
前払金	1,500	1,500	0
前払費用	301,600	430,407	△ 128,807
未収金	292,857,062	274,514,340	18,342,722
貸倒引当金	△ 716,186,000	△ 898,795,000	182,609,000
流動資産合計	<b>21,802,032,064</b>	<b>22,446,100,433</b>	<b>△ 644,068,369</b>
<b>2 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
預金	0	770,000	△ 770,000
投資有価証券	240,000,000	239,230,000	770,000
基本財産合計	<b>240,000,000</b>	<b>240,000,000</b>	<b>0</b>
<b>(2) 特定資産</b>			
収支変動対応資産	95,592,317	0	95,592,317
特定資産合計	<b>95,592,317</b>	<b>0</b>	<b>95,592,317</b>
<b>(3) その他固定資産</b>			
建物	918,341	1,102,457	△ 184,116
什器備品	8,655,336	14,263,814	△ 5,608,478
電話加入権	34,000	34,000	0
ソフトウェア	2,402,000	5,015,500	△ 2,613,500
投資有価証券	560,000,000	1,207,687,000	△ 647,687,000
長期前払費用	595,267	896,867	△ 301,600
前払年金費用	16,860,996	11,949,644	4,911,352
その他固定資産合計	<b>589,465,940</b>	<b>1,240,949,282</b>	<b>△ 651,483,342</b>
固定資産合計	<b>925,058,257</b>	<b>1,480,949,282</b>	<b>△ 555,891,025</b>
資 産 合 計	<b>22,727,090,321</b>	<b>23,927,049,715</b>	<b>△ 1,199,959,394</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	11,426,341	5,878,994	5,547,347
未払法人税等	23,700	23,700	0
未払消費税等	0	33,500	△ 33,500
前受金	20,079,044	20,611,120	△ 532,076
預り金	14,582,271	15,333,320	△ 751,049
1年内返済予定長期借入金	22,300,000,000	23,600,000,000	△ 1,300,000,000
賞与引当金	18,631,420	18,413,851	217,569
流動負債合計	<b>22,364,742,776</b>	<b>23,660,294,485</b>	<b>△ 1,295,551,709</b>
<b>2 固定負債</b>			
固定負債合計	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
負 債 合 計	<b>22,364,742,776</b>	<b>23,660,294,485</b>	<b>△ 1,295,551,709</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1 指定正味財産</b>			
寄付金	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産合計	<b>20,000,000</b>	<b>20,000,000</b>	<b>0</b>
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
<b>2 一般正味財産</b>			
一般正味財産合計	<b>342,347,545</b>	<b>246,755,230</b>	<b>95,592,315</b>
(うち基本財産への充当額)	(220,000,000)	(220,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(95,592,317)	(0)	(95,592,317)
正味財産合計	<b>362,347,545</b>	<b>266,755,230</b>	<b>95,592,315</b>
負債及び正味財産合計	<b>22,727,090,321</b>	<b>23,927,049,715</b>	<b>△ 1,199,959,394</b>

# 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	4,457,060	3,730,192	726,868
② 事業収益	606,073,982	605,455,632	618,350
経営活性化貸付金利息	422,218,890	443,480,841	△ 21,261,951
創業・事業展開支援貸付金利息	26,385,553	25,526,278	859,275
商店街活性化貸付金利息	2,410,086	1,307,060	1,103,026
ものづくり設備導入貸付金利息	2,764,163	2,300,458	463,705
経営支援貸付金利息	529,856	1,178,356	△ 648,500
償却債権回収金	151,021,368	130,862,639	20,158,729
名古屋市設備投資促進補助事業 受託料	744,066	800,000	△ 55,934
③ 受取補償金	282,412,500	261,310,950	21,101,550
損失補償金	282,412,500	261,310,950	21,101,550
④ 雑収益	22,665,693	18,968,007	3,697,686
経常収益計	915,609,235	889,464,781	26,144,454
(2) 経常費用			
① 事業費	774,140,458	918,262,520	△ 144,122,062
人件費	242,702,059	246,353,502	△ 3,651,443
物件費	58,202,098	111,388,676	△ 53,186,578
借入金利息	91,020,301	150,015,342	△ 58,995,041
貸倒引当金繰入額	382,216,000	410,505,000	△ 28,289,000
② 管理費	45,876,460	47,753,237	△ 1,876,777
人件費	37,675,291	39,048,921	△ 1,373,630
物件費	8,201,169	8,704,316	△ 503,147
経常費用計	820,016,918	966,015,757	△ 145,998,839
評価損益等調整前当期経常増減額 (A)	95,592,317	△ 76,550,976	172,143,293
評価損益等計 (B)	0	0	0
当期経常増減額 (C) (A+B)	95,592,317	△ 76,550,976	172,143,293
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	2	0	2
経常外費用計	2	0	2
当期経常外増減額 (D)	△ 2	0	△ 2
当期一般正味財産増減額 (E) (C+D)	95,592,315	△ 76,550,976	172,143,291
一般正味財産期首残高 (F)	246,755,230	323,306,206	△ 76,550,976
一般正味財産期末残高 (G) (E+F)	342,347,545	246,755,230	95,592,315
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	312,783	320,000	△ 7,217
② 一般正味財産への振替額	△ 312,783	△ 320,000	7,217
当期指定正味財産増減額 (H)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (I)	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産期末残高 (J) (H+I)	20,000,000	20,000,000	0
III 正味財産期末残高 (K) (G+J)	362,347,545	266,755,230	95,592,315

# 正味財産増減計算書内訳表

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
	融資事業		
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	4,457,060	4,457,060
基本財産運用益	0	4,144,277	4,144,277
基本財産運用益振替額	0	312,783	312,783
② 事業収益	564,749,829	41,324,153	606,073,982
経営活性化貸付金利息	383,812,737	38,406,153	422,218,890
創業・事業展開支援貸付金利息	23,985,553	2,400,000	26,385,553
商店街活性化貸付金利息	2,191,086	219,000	2,410,086
ものづくり設備導入貸付金利息	2,513,163	251,000	2,764,163
経営支援貸付金利息	481,856	48,000	529,856
償却債権回収金	151,021,368	0	151,021,368
名古屋市設備投資促進補助事業受託料	744,066	0	744,066
③ 受取補償金	282,412,500	0	282,412,500
損失補償金	282,412,500	0	282,412,500
④ 雑収益	22,570,446	95,247	22,665,693
受取利息	17,500	0	17,500
有価証券運用益	22,468,946	0	22,468,946
雑収益	84,000	95,247	179,247
経常収益計	<b>869,732,775</b>	<b>45,876,460</b>	<b>915,609,235</b>
(2) 経常費用			
① 事業費	774,140,458		774,140,458
(人件費)	242,702,059		242,702,059
給料手当	193,674,817		193,674,817
通勤手当	4,699,571		4,699,571
退職給付費用	9,476,136		9,476,136
福利厚生費	34,851,535		34,851,535
(物件費)	58,202,098		58,202,098
調査費	2,858,860		2,858,860
施策普及費	1,986,064		1,986,064
債権管理費	14,061,783		14,061,783
委託費	1,438,182		1,438,182
会議費	676,785		676,785
旅費交通費	381,370		381,370
通信費	2,495,010		2,495,010
水道光熱費	1,389,922		1,389,922
燃料費	415,456		415,456
消耗品費	2,174,359		2,174,359
租税公課	600,000		600,000
賃借料	17,268,423		17,268,423
印刷費	565,239		565,239
図書費	751,650		751,650
保険料	301,530		301,530
支払手数料	1,823,962		1,823,962
研修費	493,004		493,004
雑費	161,566		161,566
減価償却費	8,358,933		8,358,933
(借入金利息)	91,020,301		91,020,301
借入金利息	91,020,301		91,020,301
(貸倒引当金繰入額)	382,216,000		382,216,000
貸倒引当金繰入額	382,216,000		382,216,000

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
	融資事業		
② 管理費		45,876,460	45,876,460
(人件費)		37,675,291	37,675,291
役員報酬		13,927,535	13,927,535
給料手当		16,109,973	16,109,973
通勤手当		980,949	980,949
退職給付費用		1,286,016	1,286,016
福利厚生費		5,370,818	5,370,818
(物件費)		8,201,169	8,201,169
委託費		958,788	958,788
会議費		115,840	115,840
旅費交通費		44,060	44,060
通信費		298,933	298,933
水道光熱費		207,690	207,690
消耗品費		619,707	619,707
租税公課		24,700	24,700
賃借料		2,462,445	2,462,445
接待交際費		10,000	10,000
印刷費		30,113	30,113
図書費		134,446	134,446
支払手数料		3,098,988	3,098,988
研修費		69,876	69,876
雑費		78,424	78,424
減価償却費		47,159	47,159
経常費用計	774,140,458	45,876,460	820,016,918
評価損益等調整前当期経常増減額 (A)	95,592,317	0	95,592,317
評価損益等計 (B)	0	0	0
当期経常増減額 (C) 〈A+B〉	95,592,317	0	95,592,317
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	2	2
当期経常外増減額 (D)	0	△ 2	△ 2
他会計振替額 (E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (F) 〈C+D+E〉	95,592,317	△ 2	95,592,315
一般正味財産期首残高 (G)	22,316,997	224,438,233	246,755,230
一般正味財産期末残高 (H) 〈F+G〉	117,909,314	224,438,231	342,347,545
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	0	312,783	312,783
基本財産運用益	0	312,783	312,783
② 一般正味財産への振替額	0	△ 312,783	△ 312,783
一般正味財産への振替額	0	△ 312,783	△ 312,783
当期指定正味財産増減額 (I)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (J)	0	20,000,000	20,000,000
指定正味財産期末残高 (K) 〈I+J〉	0	20,000,000	20,000,000
III 正味財産期末残高 (L) 〈H+K〉	117,909,314	244,438,231	362,347,545

# キャッシュ・フロー計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 事業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 当期一般正味財産増減額 (A)	95,592,315	△ 76,550,976	172,143,291
2 キャッシュ・フローへの調整額			
① 減価償却費	8,406,092	11,872,537	△ 3,466,445
② 固定資産除却損	2	0	2
③ 貸倒引当金の増減額	△ 182,609,000	△ 170,186,000	△ 12,423,000
④ 前払年金費用の増減額	△ 4,911,352	4,174,017	△ 9,085,369
⑤ 賞与引当金の増減額	217,569	64,303	153,266
⑥ 貸付金の増減額	1,027,864,125	847,418,000	180,446,125
⑦ 立替金の増減額	△ 1,600,000	△ 1,700,000	100,000
⑧ 前払費用の増減額	128,807	△ 380,807	509,614
⑨ 未収金の増減額	△ 18,342,722	△ 54,305,946	35,963,224
⑩ 長期前払費用の増減額	301,600	△ 727,400	1,029,000
⑪ その他の固定資産の増減額	0	150,000	△ 150,000
⑫ 未払金の増減額	5,547,347	△ 6,157,879	11,705,226
⑬ 未払消費税等の増減額	△ 33,500	△ 7,000	△ 26,500
⑭ 前受金の増減額	△ 532,076	△ 739,460	207,384
⑮ 預り金の増減額	△ 751,049	△ 3,802,784	3,051,735
⑯ 指定正味財産からの振替額	△ 312,783	△ 320,000	7,217
小 計 (B)	<b>833,373,060</b>	<b>625,351,581</b>	<b>208,021,479</b>
3 指定正味財産増加収入			
① 基本財産運用収入	312,783	320,000	△ 7,217
指定正味財産増加収入計 (C)	<b>312,783</b>	<b>320,000</b>	<b>△ 7,217</b>
事業活動によるキャッシュ・フロー (D) <A+B+C>	<b>929,278,158</b>	<b>549,120,605</b>	<b>380,157,553</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入			
融資システム移行費用積立資産取崩収入	0	51,240,000	△ 51,240,000
サーバ機器購入積立資産取崩収入	0	21,945,000	△ 21,945,000
② 3ヶ月超定期預金満期収入	70,770,000	70,000,000	770,000
③ 投資有価証券満期償還収入	1,246,917,000	0	1,246,917,000
投資活動収入計	<b>1,317,687,000</b>	<b>143,185,000</b>	<b>1,174,502,000</b>
2 投資活動支出			
① 固定資産取得支出	0	21,160,000	△ 21,160,000
② 特定資産取得支出			
収支変動対応資産取得支出	95,592,317	0	95,592,317
③ 3ヶ月超定期預金預入支出	70,000,000	70,000,000	0
④ 投資有価証券取得支出	600,000,000	0	600,000,000
投資活動支出計	<b>765,592,317</b>	<b>91,160,000</b>	<b>674,432,317</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー (E)	<b>552,094,683</b>	<b>52,025,000</b>	<b>500,069,683</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 財務活動収入			
① 借入金収入	22,300,000,000	23,600,000,000	△ 1,300,000,000
財務活動収入計	<b>22,300,000,000</b>	<b>23,600,000,000</b>	<b>△ 1,300,000,000</b>
2 財務活動支出			
① 借入金返済支出	23,600,000,000	23,600,000,000	0
財務活動支出計	<b>23,600,000,000</b>	<b>23,600,000,000</b>	<b>0</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー (F)	<b>△ 1,300,000,000</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,300,000,000</b>
IV 現金及び現金同等物の増減額 (G) <D+E+F>	<b>181,372,841</b>	<b>601,145,605</b>	<b>△ 419,772,764</b>
V 現金及び現金同等物の期首残高 (H)	<b>4,702,340,061</b>	<b>4,101,194,456</b>	<b>601,145,605</b>
VI 現金及び現金同等物の期末残高 (I) <G+H>	<b>4,883,712,902</b>	<b>4,702,340,061</b>	<b>181,372,841</b>

# 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、償却原価法（定額法）によっている。ただし、額面と取得価額の差額に重要性が乏しい場合、取得価額で記載している。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産  
定率法によっている。
- ・無形固定資産  
定額法によっている。

### (3) 引当金の計上基準

- ・貸倒引当金  
貸倒引当金は、個別評価債権と一般債権に分類し、過去の一定期間における各々の貸倒実績率等に基づき算出した額から、名古屋市による貸倒償却に対する損失補償割合を控除して計上している。
- ・退職給付引当金  
職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
- ・賞与引当金  
職員の賞与の支給等に備えるため、賞与支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

### (4) リース取引の処理方法

重要性の乏しいリース取引以外については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。なお、リース契約日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

### (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

## 2 会計方針の変更

当期において消費税等の会計処理を税抜方式から税込方式に変更している。  
なお、これによる経常増減額および一般正味財産増減額への影響は軽微である。

## 3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	770,000	0	770,000	0
投資有価証券	239,230,000	240,000,000	239,230,000	240,000,000
小 計	240,000,000	240,000,000	240,000,000	240,000,000
特定資産				
収支変動対応資産	0	95,592,317	0	95,592,317
小 計	0	95,592,317	0	95,592,317
合 計	240,000,000	335,592,317	240,000,000	335,592,317

## 4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当額)	(うち一般正味 財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	240,000,000	(20,000,000)	(220,000,000)	—
小 計	240,000,000	(20,000,000)	(220,000,000)	—
特定資産				
収支変動対応資産	95,592,317	0	(95,592,317)	—
小 計	95,592,317	0	(95,592,317)	—
合 計	335,592,317	(20,000,000)	(315,592,317)	—

## 5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
有形固定資産			
建物	4,705,100	3,786,759	918,341
什器備品	37,491,100	28,835,764	8,655,336
無形固定資産			
ソフトウェア	13,470,000	11,068,000	2,402,000
合 計	55,666,200	43,690,523	11,975,677

## 6 保証債務（債務の保証を主たる目的事業とする場合を除く。）等の偶発債務

三菱東京UFJ銀行との間における支払保証委託取引残高は16,500,000円である。

## 7 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種 類 及 び 銘 柄	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産			
地方債（名古屋市第16回20年公募債）	240,000,000	253,776,000	13,776,000
小 計	240,000,000	253,776,000	13,776,000
投資有価証券			
地方債（名古屋市平成17年度第2回事業債）	200,000,000	204,380,000	4,380,000
地方債（名古屋市第16回20年公募債）	60,000,000	63,444,000	3,444,000
地方債（愛知県平成26年度第13回公募債）	300,000,000	309,090,000	9,090,000
小 計	560,000,000	576,914,000	16,914,000
合 計	800,000,000	830,690,000	30,690,000

## 8 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
損失補償金	名古屋市	261,310,950	282,412,500	261,310,950	282,412,500	未収金
合 計		261,310,950	282,412,500	261,310,950	282,412,500	—

## 9 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益振替額	312,783
合 計	312,783

## 10 キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は、次のとおりである。

(単位：円)

前 期 末	当 期 末
現金預金勘定 4,772,340,061	現金預金勘定 4,953,712,902
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 △ 70,000,000	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 △ 70,000,000
現金及び現金同等物 4,702,340,061	現金及び現金同等物 4,883,712,902

(2) 重要な非資金取引 該当なし



## 1 1 退職給付関係

### (1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として、退職一時金制度及び確定給付企業年金制度を設けている。

### (2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	△ 348,190,250
② 年金資産	365,051,246
③ 前払年金費用	16,860,996
④ 退職給付引当金 (①+②-③)	0

### (3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 勤務費用	10,762,152
② 退職給付費用	10,762,152

### (4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

## 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表に対する注記3に記載しているため、内容の記載を省略する。

### 2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	18,413,851	18,631,420	18,413,851	0	18,631,420
貸倒引当金	898,795,000	382,216,000	564,825,000	0	716,186,000

# 財 産 目 録

平成27年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金預金			
	<現金>	○融資事業 手元保管	運転資金として 110,338	
	<当座預金>	○融資事業 三菱東京UFJ銀行今池支店 1口	運転資金として 19,460,952	
	<普通預金>	○融資事業 三菱東京UFJ銀行柳橋支店始め9口	運転資金として 4,850,295,685	
		○法人会計 三菱東京UFJ銀行柳橋支店 1口	運転資金として 5,515,714	
	<郵便振替>	○融資事業 ゆうちょ銀行 1口	運転資金として 8,330,213	
	<定期預金>	○融資事業 名古屋銀行本店始め7口	運転資金として 70,000,000	
			<b>&lt;現金預金計&gt;</b>	<b>4,953,712,902</b>
	貸付金	○融資事業 経営活性化資金融資 4,141件 (うち特別支援資金 7件 7,002,000円)	経営活性化資金融資の残高	15,814,578,000
		創業・事業展開支援資金融資 348件	創業・事業展開支援資金融資の残高	1,007,774,000
		商店街活性化促進資金融資 19件	商店街活性化促進資金融資の残高	166,176,000
		ものづくり設備導入資金融資 57件 (うち特別資金 42件 169,369,000円) (うち機械類貸与 12件 69,847,000円)	ものづくり設備導入資金融資の残高	260,526,000
		経営支援特別資金融資 28件	経営支援特別資金融資の残高	17,591,000
			<b>&lt;貸付金計&gt;</b>	<b>17,266,645,000</b>
	立替金	○融資事業 名古屋地方裁判所	相続財産管理人選任予納金等	4,700,000
	前払金	○融資事業 名古屋市交通局	マナカ発行保証金	500
		○法人会計 名古屋市交通局	マナカ発行保証金	1,000
			<b>&lt;前払金計&gt;</b>	<b>1,500</b>
	前払費用	○融資事業 ㈱富士通マーケティング	基幹サーバ及び開発用サーバ保守料	301,600
	未収金	○融資事業 名古屋市	損失補償金	282,412,500
	未収利息 609件 名古屋市公債始め3銘柄	経営活性化資金融資等の未収利息 名古屋市公債始め3銘柄の経過利息	6,197,022 3,138,149	
	○法人会計 名古屋市公債1銘柄	名古屋市公債1銘柄の経過利息	1,109,391	
		<b>&lt;未収金計&gt;</b>	<b>292,857,062</b>	
貸倒引当金	○融資事業	貸付金の貸倒に備えるための引当金	△ 716,186,000	
<b>流動資産合計</b>			<b>21,802,032,064</b>	
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	○法人会計 名古屋市第16回20年公募公債	運用益を管理運営の財源として使用している 240,000,000	
特定資産	収支変動対応資産 <普通預金>	○融資事業 三菱東京UFJ銀行柳橋支店 1口	将来の収支変動に備えるため積立てている特定費用準備資金 95,592,317	
その他 固定資産	建 物	○融資事業、法人会計共用 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号 5階 <建物附属設備> 会議室(南側)簡易間仕切始め 2点	(共用財産) うち87%を公益目的保有財産として 融資事業に使用している 798,953 うち13%を管理運営に使用している 119,384	
		○融資事業 <建物附属設備> 東倉庫簡易間仕切始め 4点	公益目的保有財産として融資事業に 使用している 4 <b>&lt;建物計&gt;</b> <b>918,341</b>	

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
仕器備品	電話加入権	○融資事業、法人会計共用 耐火金庫始め17点	(共用財産) うち87%を公益目的保有財産として 融資事業に使用している うち13%を管理運営に使用している	308,831		
			○融資事業 耐火金庫始め14点	公益目的保有財産として融資事業に 使用している	46,147	
			○法人会計 応接セット始め10点	管理運営に使用している	8,300,348	
			<b>&lt;仕器備品計&gt;</b>			<b>10</b>
			<b>8,655,336</b>			
			○融資事業、法人会計共用 電話回線17本	(共用財産) うち87%を公益目的保有財産として 融資事業に使用している うち13%を管理運営に使用している	29,580	
			<b>&lt;電話加入権計&gt;</b>			4,420
			<b>34,000</b>			
			○融資事業 コンピュータ制作費 3件	公益目的保有財産として融資事業に 使用している	2,402,000	
			○融資事業 名古屋市平成17年度第2回事業公債 始め3銘柄	運用益を融資事業の財源として使用 している	560,000,000	
○融資事業 ㈱富士通マーケティング	基幹サーバ及び開発用サーバ保守料	595,267				
○融資事業 日本生命保険相互会社	退職給付会計による確定給付企業 年金制度の年金資産超過額	15,561,130				
○法人会計 日本生命保険相互会社	退職給付会計による確定給付企業 年金制度の年金資産超過額	1,299,866				
<b>&lt;前払年金費用計&gt;</b>			<b>16,860,996</b>			
<b>固定資産合計</b>				<b>925,058,257</b>		
<b>資産合計</b>				<b>22,727,090,321</b>		
(流動負債)	未払金	○融資事業 業者等に対する未払額 ○法人会計 業者等に対する未払額	3月分事務室共益費・電気料等 3月分振込手数料等	9,666,074 1,760,267		
<b>&lt;未払金計&gt;</b>			<b>11,426,341</b>			
未払法人税等	○法人会計 平成26年度法人市民税の未払額	平成26年度法人市民税納付額	23,700			
前受金	○融資事業 未経過利息 3,305件	経営活性化資金融資等の未経過利息	20,079,044			
預り金	○融資事業 預り保証金 融資事業の預り金 職員等からの預り金	機械類貸与の預り保証金 貸付償還金の少額過納金等 3月分住民税等	6,969,000 5,781,671 1,831,600			
<b>&lt;預り金計&gt;</b>			<b>14,582,271</b>			
1年内返済予定 長期借入金	○融資事業 名古屋市	融資事業のための借入金	22,300,000,000			
賞与引当金	○融資事業 職員に対するもの ○法人会計 職員に対するもの	融資事業に従事する職員に対する賞与 支給見込額等のうち当期に帰属する額 法人会計に従事する職員に対する賞与 支給見込額等のうち当期に帰属する額	17,244,611 1,386,809			
<b>&lt;賞与引当金計&gt;</b>			<b>18,631,420</b>			
<b>流動負債合計</b>				<b>22,364,742,776</b>		
<b>固定負債合計</b>				<b>0</b>		
<b>負債合計</b>				<b>22,364,742,776</b>		
<b>正味財産</b>				<b>362,347,545</b>		


# 監査報告書


平成27年5月21日

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社

理事長 斯波 薫 様

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社

監事 浅野 潤 

監事 野田 道典 

私たち監事は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの事業年度の監査を行いましたので、その方法及び結果について以下のとおり報告します。

## 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人の業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度にかかる事業報告について検討しました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第42条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度にかかる計算書類及びその附属明細書並びに財産目録及びキャッシュ・フロー計算書について検討しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告書の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録及びキャッシュ・フロー計算書の監査結果

会計監査人後藤貞明公認会計士の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

## 独立監査人の監査報告書

平成 27 年 5 月 15 日

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社  
理事長 斯波 薫 殿

後藤公認会計士事務所  
公認会計士

後藤貞明



### <財務諸表監査>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社の平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの平成 26 年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドライン I-5 (1) の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

### 財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### <財産目録に対する意見>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社の平成 27 年 3 月 31 日現在の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

### 財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財産目録を作成することにある。

### 監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、貸借対照表及び公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

### 財産目録に対する意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、貸借対照表及び公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

### 利害関係

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上